

神奈川県山梨教会連合会より

かりん

「教会設立 30 年の節目を迎えて」

山田信二先生は昭和四十一年三月二十五日、山田英明氏・尚子師のもとにお生まれになりました。

母である尚子先生が布教を開始され、昭和六十年に教会設立された横浜西教会の後継のため平成元年に学院を卒業、同年六月に教師補命される。

平成五年には浩子先生とご結婚、一男一女を授けられる。平成十五年九月五日、横浜西教会長に任命される。

○十二年前に教会長に就任されましたが、一教師と教会長とは、違いがありますか。
信二先生(以下…信)…責任が違いますね。教会運営の責任は教会長にあるということにはもちろんですが、御取次の責任も負わねばならない。信者さんがおかげを受けられるか受けられないかということについて、もちろん、私の力でおかげを受けさせるわけではありませんが、その人が信心する気になるかどうか、ちゃんと信心の筋道を理解できるかどうか、しっかりと神様にその願いを取り次げるかどうか。教会長は責任があるのだと感じます。これはきついですね。

○前教会長・尚子先生とご自身を比べて、違

いを感じる事はありますか。
信…祈念力と信念ですね。ですから、御祈念は今も母に助けてもらっています。信念は、体験の積み重ねですから、かないませんね。それでも、両親や信者さんがおかげを受ける姿を見て、「神徳を受ければ心配はない」ということは実感として分

川でスバって山でコロんで…とってきました

Interview

第 39 回 横浜西教会 山田信二先生



からせて頂いています。時折、自分の力の無さに気づかされます。上手に話をするのが教師の御用だという思いが強か

ったのですが、それだけでは人は助からないということをお知らせしてもらいました。それよりも、しっかりと参ってくる人の気持ちを受けとめて祈らせて頂くことの方が大事なのです。だから、前より

も人の話を聞かせて頂くようになりました。○ご結婚から二十年以上経ち、奥様に感謝する事などありますか。

信…いつもそばにいてくれ、適切なアドバイスをしてくれるのがありがたいです。

「それでええんちやう」と言ってもらっただけ

でも力になりますからね。恥ずかしいからこのくらいにしておきます。

○記念祭を迎えられるにあたり、こういう記念のお祭りにさせていたただきたい、という願いや目標がありますか。

信…今年が記念の年ということはいくつかの取り組みをしました。まず、信者さんにどんな信心目標がいいか意見を出してもらい、たくさん出た意見の中から、信心実践目標・目指す教会像を5つにまとめました。

「誰もが助かる教会に」「笑顔が生まれる教会に」「心が安らぐ教会に」「祈り合い、高め合う教会に」「若い人が育つ教会に」みんなはどうしたらそれが実現するかを話し合いました。今度はそれを実現することが課題です。記念祭は神様にお礼であると同時に、これからの目標に向かっての歩み出しにしなければと思っています。

○この先、求められる信心についてお話し下さい。

信…信心は、自分と神様との関係ですが、神様との関係を求めていけば、世界や社会にどうかわかっていくかも問題になってきます。今回、記念事業として、教会施設に太陽光発電の導入を行いました。原発について何の知識も疑問もなく依存してきたことを反省し、神様のお体である天地を大切に、将来の世代に負荷をかけないライフスタイルを求め、設置させていただくことになりました。

原発の問題、安保法制の問題、経済格差の問題にしても、信心の眼で見て行動することが大切だと思います。平和な世界をつくることが神様の願いですから。

○ありがとうございます。(今村則子)

去る 9 月 12 日(土)甲府教会に於いて第三回教師信徒共励会が開催されました。(出席者は 8 教会から 27 名)

会長挨拶に続いて、牧野真幸師より「120 年のお年柄に当たり思うこと」と題して、大神様のお働き、先祖のお祈りがあって出来たことであり、いかにその御礼と喜びを表すかが課題であったというお話がありました。

次に甲府教会信徒からの発表で、岡本和子さんより「私と母にとって教会とは」と題して、母のこと自身の病気のことを通して、今、何事も起きてくることはおかげと思えるようになってきた。母の信心を見習い、積極的に研修等の勉強を重ねご用を進めて参りたい。とのお話がありました。

志村等さんは「金光教と私」と題して、信心は三代目であり、金光教は相続財産と思っているが、難儀とか辛い思いはしたことがなく、今まで順調に來っていたので、有り難いとか感動がなかった。そういう中で事業を始めるようになって、順調にきていることがおかげと思えるようになってきた。また、神前拝詞の中身は素晴らしいと思う。と話されました。

平成 27 年度 「第3回教師・信徒共励会」開催される

次に班別懇談が二班に分かれて行われ、時間が少ない中で活発な意見交換ができました。

昨年度からの共励会の開催を通して感じられることの一つに、自己紹介と自身の信心の話に時間が割かれてしまう現状が挙げられます。今後は、テーマに沿った懇談に、より多くの時間を使えるように、会の持ち方を修正しながら、多くの方々と言葉をお交わししていきます。引き続きご参加をお願いいたします。

(丸子教会 横山光雄)



班別懇談の様子

○かりんの輪

「私の思い」

生麦教会 高橋正一

日本・ニッポン・にほん、字に書いても、声に出して読んでも良い響き。心地よく身体にスーッと入ってくる、世界一素晴らしい国日本。世界に類のない独自の文化・風習、言葉や文字、五感全てを遺憾なく発揮し、その一つ一つに独自の繊細な感性と大きな深い意味を持つ人類がほかにいるだろうか。しかし、後世に向けて語り継いでいかなければならない諸々が、経済・科学・医学・文化等、時代の進歩や他国からの影響、若者の新しい感覚等で、素晴らしい伝統・日本が消えつつあります。それを守り引き継ごうとしているのは、意外にも日本の文化・風習に惚れ込んだ外国人なのです。日本庭園、植木職人、盆栽、鍛冶屋、旅館、和食料理人、文学、語学等々の日本伝統の職に弟子入りし、引き継いでおります。

一方では、どの宗教も衰退しております。殺伐としたこの時代こそ信仰が必要ではないか。一人では生きては行けない、天地の恵みを頂き神徳の中に生かされ、助け合い、支え合い、励まし合い、感謝の心が生まれ、思いやりや道理に合う生き方をし、人に尽くす、これが信仰だと思えます。

〈来年度の教会連合会事業について〉

去る 9 月 17 日(木)午後 1 時 30 分より、神奈川教会で今年度第 3 回となる運営委員会を開催し、来年度の教会連合会の事業計画について、各部から提出された計画案をもとに、審議しました。
つきましては、来年度の主な行事について左記のとおりご報告いたします。

*開催日が記載されていない行事は、現在開催日が未定です。
*記載内容は、来年度の総会で承認されることから、案を付しています。

○平成 28 年度教会連合会事業計画(案)

【基本方針】

教師信徒一体となって、金光大神の信心を求め現す

【活動方針】

- 1 「神人あいよかけよの生活運動」をすすめる
- 2 布教活動を推進する
- 3 人の助かる人材の育成を図る

来年度の主な行事予定(案)

- 1 月 30 日(土)教会連合会総会(神奈川)
- 2 月 13 日(土)輔教懇談会(藤沢)
- 2 月 教師会①

4 月 10 日(日)みんなのつどい①
「いちご狩り」集会
かりん 57 号発行

4 月 運営委員会①
かりん 58 号発行

5 月下旬〜6 月初旬地域交流会(大磯周辺)
6 月 18 日(土)教師信徒共励会①(生麦)
6 月 運営委員会②
教師会②

7 月 6 日(水)女性のつどい(鶴見)
23 日か 24 日みんなのつどい②
「地引網」集会

7 月 かりん 59 号発行
8 月 運営委員会③
教師会③

9 月 3 日(土)教師信徒共励会②(鎌倉)
10 月 8 日か 15 日 登山ハイクまたは
ボウリング集会

10 月 教会連合会長選挙(神奈川)
かりん 60 号発行

12 月 3 日(土)講話と夕食の会
運営委員会④
かりん編集会議
教師会④

12 月 ひいらぎの会②

以上、主な行事について記載しましたが、各部単位でも記載以外の行事や取り組みが行なわれます。
(文責 南 清孝)

金光教はと言うと、このままでは何十年か後には、「そう言えばその昔、『金光教』という宗教があったね」という時代になりかねない。信奉者の減少は何故だろうか。他教団に比べて本教は各教会が独立採算制での教会布教で、事業主なのです。会社経営は如何にその時代に対応し、方針・計画を立て実行し、利益を確保するかです。いまや、一部上場の大会社から中小零細企業まで、従業員のため株主のため危機感を抱き、プロの経営者、後継者の基に努力しています。

世界を救えるのは唯一本教である。地獄も罰も罪も悪も方位も厄も無い素晴らしい宗教『金光教』を無くしてはならない、皆で頑張るしかありません。昭和三十年に初めてご本部聖地に参拝したときはゾクゾクと身震いしました。参拝者が多く、参道ではなかなか前に進めない、あの三十年代四十年代に戻りたく思います。

教勢の衰退の要因は、布教力の減退だと思います。布教力を上げ、各教会では教師は初代の布教意欲超えて、教祖様の再来を求め、願い、多くの人を助け、信奉者は内弁慶にならず、少しの優しさと勇気を持って対外的に活動をして『金光教』を伝え、少しでも難儀な人の手助けになればと思えます。私は更なる信心の向上に努めてまいります。



平成 27 年 神奈川山梨教会連合会
生神金光大神大祭日程

教会名	日 程
横 浜 西 教 会	10 月 18 日 (日) 13 時 30 分
併せて開教三十年記念祭	
甲 府 教 会	10 月 18 日 (日) 13 時 30 分
鎌 倉 教 会	10 月 25 日 (日) 13 時 30 分
登 戸 教 会	10 月 25 日 (日) 13 時 30 分
大 明 教 会	10 月 25 日 (日) 13 時 30 分
子 安 教 会	11 月 1 日 (日) 13 時 30 分
横 須 賀 教 会	11 月 3 日 (祝) 13 時 30 分
生 麦 教 会	11 月 3 日 (祝) 13 時
丸 子 教 会	11 月 3 日 (祝) 13 時
相 模 原 教 会	11 月 3 日 (祝) 14 時
平 塚 教 会	11 月 7 日 (土) 13 時
武 蔵 小 杉 教 会	11 月 8 日 (日) 11 時
鶴 見 教 会	11 月 11 日 (水) 13 時
野 毛 教 会	11 月 14 日 (土) 13 時 30 分
大 磯 教 会	11 月 14 日 (土) 13 時
小 田 原 教 会	11 月 23 日 (祝) 14 時
併せて開教百二十年記念祭	
藤 沢 教 会	11 月 28 日 (土) 11 時
神 奈 川 教 会	11 月 29 日 (日) 11 時 30 分
津 久 井 教 会	未 定
南 甲 府 教 会	未 定

お 知 ら せ

○神奈川山梨教会連合会
 ホームページのご案内○

連合会では、各行事の様子や総会資料、
 『かりん』などをホームページで紹介して
 います。

多くの皆様の閲覧をお待ちしております。

URL = <http://www.kyokairengokai.jp>

または

金光教神奈川山梨教会連合会

検索

でお楽しみください。

○講話と夕食の会

日時 12月5日(土)

15時〜講話と質疑

17時〜講師を囲んで夕食、懇談

内容 フォトリピンスタディーツアーについて

講師・宮川昌也先生(小田原教会)

※詳しくは、各教会に送付済みのチラシ
 をご参照ください。

○みんなのつどい③

ポウリング集会

日時 12月6日(日)

※会場、集合時間など詳しいことは、
 これから各教会宛送付される案内
 をご参照ください。

〈 な が れ 〉

『よみがえる教祖の時代』

神奈川教会 吉田章一郎

神奈川教会開教百二十年の御礼で本部の大祭に団体参拝し、前日(十月三日)には岡山の才崎教会にもお参りした。私は十代後半から二十代にかけて福田源三郎先生の教えを受けていたが、朝の教話とはご理解集と尋求教語録が中心であった。その尋求教語録は、才崎教会の初代・片岡次郎四郎先生が教祖から直々に頂かれた教えと、才崎に参拝した氏子に教え伝えた教語などがまとめられている。本気で信心を始めて間もない私には目の覚める感動であった。

一面田んぼの中に小高い山が散在し、稲穂が生き生きと実ったのどかな田園の中に教会の営みがあった。農作を中心にした生活の中で教祖が力強く説き、直信が情熱をもって教え伝えていった教祖時代の情景がよみがえってきた。たくさん情報飛び交い、あわただしく変化していく今の時代に、大事なものを失わないようにと気づかされたご本部参拝であった。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田光一

〒 221-0057 横浜市神奈川区青木町六一二十五

金光教神奈川教会内